

ため池ハザードマップ
菅谷口池・菅谷奥池・
岩池・新池（下久米・久米）

このマップは、ため池が決壊した場合にどのような被害となるかを知るために、ため池が満水の時に貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、浸水の深さの最大値とおおよその到達時間、避難方向の目安を示しています。

表示されている範囲以外の浸水や、特に河川や水路沿いでは到達時間より早く被害が発生する場合がありますので注意してください。

避難の心得

■ 状況により、早めに避難しましょう

避難情報などが発表されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。暗くなってからの避難は危険です。



■ 浸水時は足もとに注意

マンホールや側溝などに足をとられないよう、長い棒などで確認しながら歩きましょう。



■ 浸水時に長靴は厳禁

避難には運動靴が最適です。長靴は水が入ると歩けなくなります。動きやすい服装で避難しましょう。



■ 浸水時に自動車での避難は危険

普通自動車は約30cmの浸水で走行困難になります。特に、アンダーパスなどの掘り下げた道路は、真っ先に浸水するため大変危険です。



防災メモを持とう

事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。



■ みんなで助け合おう

単独での行動は避け、隣近所に声をかけ合い、みんなで避難しましょう。



持ち出し品は最小限に

非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。



安全なルートで避難

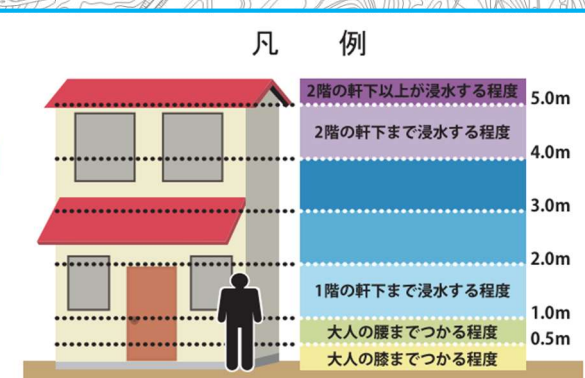
避難経路は、川や水路沿い、地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。



浸水深が2m未満の場合や、近くに安全な場所がない場合、到達時間が短い場合は、自宅や頑丈な建物の2階以上に避難することも有効です。

池の直下や主流線上は水の勢いが強く、家屋の損壊や避難時に流される場合があるため、十分注意してください。

必ず周囲の安全を確認しながら、なるべく2人以上で避難してください。



	指定避難所		市役所・分庁舎
	消防署		その他の施設
	医療機関		公園
	警察署・交番		幼稚園・保育所
	公民館・集会所		福祉施設

高い所に向かって
避難しましょう。

浸水想定区域から
離れましょう。

大雨の際は、河川や水路から水があふれるおそれがあります。周囲の状況をよく確認し、無理に避難しようとせず、必要に応じて高い場所で水が引くのを待つなど、安全な行動を心がけましょう。

× ため池の決壊地点

- ・上流の菅谷奥池の決壊に伴い下流の菅谷口池が決壊することを想定しており、上下流の池の貯水量の合計により浸水深を計算しています。
- ・上流の岩池の決壊に伴い下流の新池が決壊することを想定しており、上下流の池の貯水量の合計により浸水深を計算しています。
- ・表示している浸水深は上記2つの計算結果の最大値です。

縮尺 = 1 : 10,000



本マップは、加東市と下久米地区が協力して作成したものです。

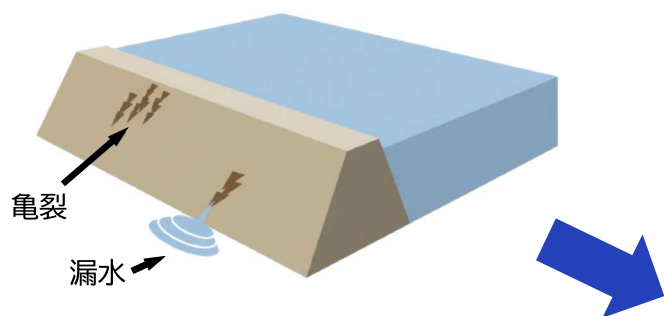
令和7年12月 加東市産業振興部農地整備課

ため池の決壊

■ 大雨のとき



台風や集中豪雨によって、ため池の水位が上昇すると、堤防に浸み込む水の量が増えて、亀裂や漏水が発生し、ため池の決壊の危険性が高まります。また、流木などがため池の洪水吐を塞いでしまうと、さらに水位が上昇し、堤防から越水してしまいます。堤防を乗り越えた水の力により堤防が侵食され、決壊に至る危険性がさらに増加します。



ため池が決壊すると、大量の水と土砂が一斉に押し寄せるため、建物や車は押し流される可能性があります。

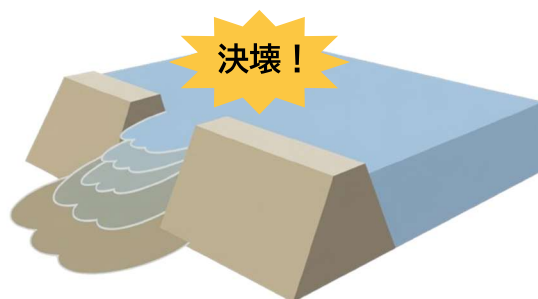
■ 地震のとき



大地震が発生すると、堤防は異常な力を受けて亀裂や沈下が発生します。地震によって堤防の強度も低下しているため、水圧に耐えきれずに決壊することがあります。大地震直後に決壊しなくても、堤防が損傷している場合には、その後の余震で決壊することもあり得るので注意が必要です。

※ これまで、災害によるため池の決壊によって、以下のような人的被害が発生しています。

- 東日本大震災（平成23年3月11日）
藤沼ダム（福島県）決壊：7名死亡 等
- 平成30年7月豪雨（平成30年6月28日～7月8日）
勝負迫上池および下池（広島県）決壊：1名死亡 等



日頃の備え

災害時に落ち着いて行動できるよう、日頃から以下の点について備えておきましょう。

- ❑ 想定される浸水範囲や浸水深、洪水到達時間を確認しておきましょう。
- ❑ 他のため池の決壊や土砂災害、豪雨時には河川や水路があふれる可能性もあります。万一に備えて、適切な避難行動や安全な避難経路を確認しておきましょう。
- ❑ 気象情報や避難情報などの入手方法を確認しておきましょう。
- ❑ 家族や近所で災害への対応や連絡先について話し合っておきましょう。



■ 緊急時の連絡先

機関名	連絡先	機関名	連絡先
加東市役所	0795-42-3301	関西電力送配電(株)	0800-777-3081
加東消防署	0795-42-0119	大阪ガス(株)（ガス漏れ通報専用）	0120-7-19424
加東警察署	0795-42-0110	大阪ガス(株)（お客さまセンター）	0120-7-94817
加東市民病院	0795-42-5511	N T T（電話の故障）	113

氏名	続柄	連絡先
氏名	続柄	連絡先

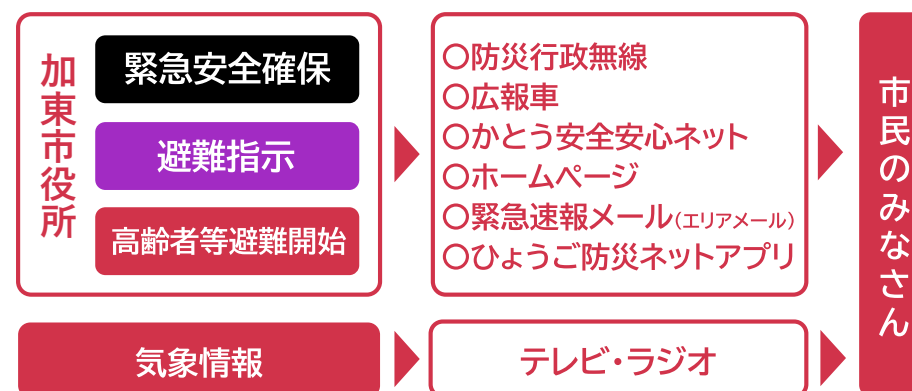
避難に関する情報

■ 避難情報の種類ととるべき行動

避難情報等 (加東市が発令)	警戒レベル	防災気象情報 (気象庁が発表)	とるべき行動
緊急安全確保	警戒レベル5	大雨特別警報	すでに災害が発生している状況です。 この段階では安全な避難が難しい場合があります。 空振りをおそれずに、レベル3・レベル4の段階で安全に避難を終わめましょう。
避難指示	警戒レベル4	土砂災害警戒情報	いまずぐ安全な場所へ全員避難。 速やかに緊急避難場所に避難しましょう。緊急避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
高齢者等避難開始	警戒レベル3	大雨警報(土砂災害) 洪水警報	高齢者や要介護者等は避難。 高齢者、障害のある方等、避難に時間のかかる方とその支援者は避難を開始しましょう。 その他の方は、避難の準備を整えましょう。
	警戒レベル2	大雨注意報 洪水注意報	ハザードマップなどで避難行動を確認しましょう。 災害の危険性のある区域、避難場所、避難経路、避難のタイミングを確認してください。
	警戒レベル1	早期注意情報	最新の防災気象情報などを確認しましょう。 災害への心構えを高めてください。

■ 避難情報の伝達経路

災害の情報は下図の伝達経路で皆さんに伝達されます。テレビ、ラジオ、インターネットの情報なども積極的に活用し、情報収集・避難行動に役立てましょう。



かとう安全安心ネット 【メール配信サービス】

加東市では、気象・災害・避難情報などの情報をメールでお知らせしています。

※登録料・情報料は無料です。

登録方法

- ①かとう安全安心ネット (<https://bosai.net/kato/>) にアクセスしてください。
※右記のQRコードからアクセスすることもできます。
- ②表示されるページ下部の「簡単登録はこちら」を選択してください。
- ③メール送信画面が開きますので、そのままメールを送信してください。
- ④返信されるメールの「利用規約に同意して登録する」部分に書かれているURLへアクセスしたら、登録完了です。

